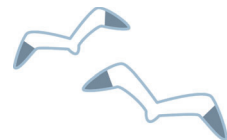


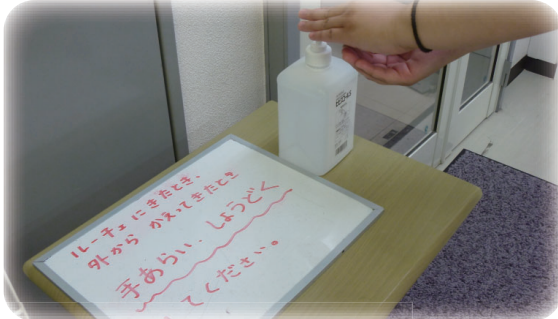


小規模多機能むさしのご利用者の作品





けやきの杜のコロナ対策 コロナ禍でもがんばりました



こまめな手洗いや
消毒で徹底予防!



ソーシャルディスタンスを
とりながらご利用者に
感染症対策について説明

支援業務に入る際は、
職員はゴーグルを着用
し飛沫感染防止対策



昼食時の座席も交互向い
せに座るなどソーシャル
ディスタンスを保って食事



新型コロナウイルス感染症が日本で感染し始めてから、法人内でも職員、ご利用者の手洗い・アルコール消毒の徹底、マスクやゴーグルの着用をしています。また、三密回避のために事業所内の換気やソーシャルディスタンス（間隔をあけての座席配置）、面談時にはテーブルに仕切りを設置するなど各事業所で出来る限りの環境整備を行い、コロナ対策をしております。

グループホームなどの事業所では、自粛期間中お菓子作りや、ネイルアート、映画鑑賞などご利用者がユニット内でも楽しみをもてるよう工夫しながら過ごしました。

マスクが不足している時期は、業務の合間を縫って手作りマスクを作成する職員や、小規模多機能むさしでは、キッチンペーパーの手作りマスクから徐々にバージョンアップしていきました。

今年の夏は特に暑く、マスク着用によって熱中症への懸念がありましたが、放課後等デイサービス ルーチェでは、近くの公園に行く時でも水分を持っていくのはもちろんのこと時間を決めてこまめな休憩、子どもの顔色・汗のかきかたをより一層気にしながら見守りました。

コロナが終息するにはまだ時間がかかるかもしれませんが、引き続き感染症対策をおこない頑張って乗り切っていきたいと思います。



街中でマスクや消毒液がなかなか手に入らず、職員もドラッグストアを探し回ったり並んだりもしました。そのような中、国分寺市や近隣の方々からたくさんのご寄付をいただき法人として大変有難く助かりました。現在も消毒液が十分ではない状況にあります。ご利用者の中には感染リスクの高い方もいらっしゃるの衛生用品を切らさないようにしていきたいと思ひます。（国分寺市障害者就労支援センター 小島 あすか）

厚生労働省から届いたマスク



国分寺市から届いたマスク・消毒液



たくさんのご寄付 ありがとうございました



国分寺市長からのメッセージ

～ 市内福祉事業者の皆さまへ 感謝の意をこめて ～

新型コロナウイルス感染症への対応が続く中、休むことなく利用者の方々の支援にあたられている皆さまのご尽力に、心より感謝申し上げます。

国分寺市では、新型コロナウイルス感染症対策として「市民の生命と健康と生活を全力で守るための取組」を進めています。

その取組の一環として、福祉事業者の皆さまへ感謝の意をこめて、日々の業務の中でご利用いただけるよう、感染症予防物資をお届けいたします。

1日も早い終息に向けて、ともに頑張ってください。



令和2年5月吉日 国分寺市長 井澤 邦夫

ありがとうございます

徐々にバージョンアップした手作りマスク



①キッチンペーパーに輪ゴムを通した簡易的マスク



②キッチンペーパーに端切れ布をミシンで縫い付けました



③小規模多機能むさし力作布マスクの完成!





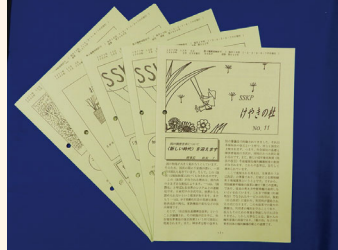
第100号記念特集

1995年(平成7年)1月1日に第1号が発行されてから26年ついに100号を迎えることができました。
 「社会福祉法人けやきの杜」創立34年とともにどのように広報誌が
 変わってきたのかをご愛読いただいている皆様とともに振り返り、
 これからもご愛読いただけるよう広報委員から感謝の思いを含め、
 特集させていただきました。

広報誌の表紙の移り変わり



①第1号～第9号まで
 平成7年1月発行から平成10年12月
 白の上質紙、白黒印刷。表紙は挨拶から
 始まり、希望園1施設の事業、行事、活
 動報告でした。ワークホーム虹を立ち上
 げようとしている時期です。



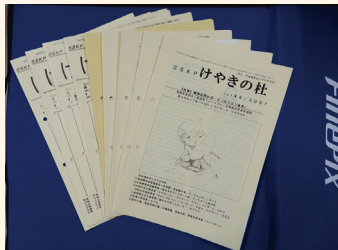
②第10号～第15号まで
 平成11年3月～平成12年3月
 この号から緑の色上質紙、白黒印刷。表
 紙は虹の職員が描いた絵が使われました。
 絵画の先生でもあり素敵な絵と評判でし
 た。



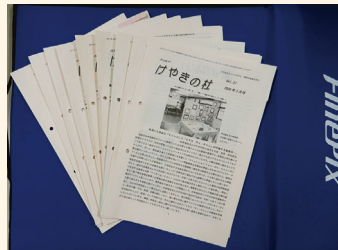
③第16号～第24号まで
 平成12年6月～平成14年8月
 表紙が職員の描いた絵からご利用者の描
 いた絵になり、毎月いろんなご利用者が
 書いています。この表紙の絵から、ご利
 用者の持つ力を感じることができました。



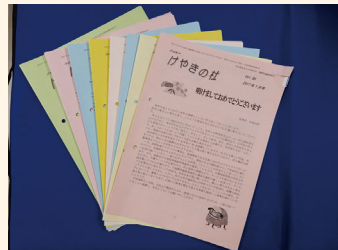
④第25号～第40号まで
 平成15年1月～平成17年4月
 紙の色が緑からクリーム色になったり、表
 紙に目次が入っています。25号～31号は年
 度内で発行されており、支援費制度に
 変わることで発行回数が多かったです。



⑤第41号～第49号まで
 平成17年6月～平成19年1月
 表紙の絵が再び希望園の職員によるかわ
 いらしい天使の絵になっておりました。
 書いた職員は男性ですが、繊細な絵に皆
 ビックリしていました。



⑥第50号～第57号まで
 平成19年5月～平成21年3月
 表紙が絵から写真になっております。ご
 利用者が撮影した写真が載ることもあり
 ました。このころ、職員に元カメラマン
 がおりました。

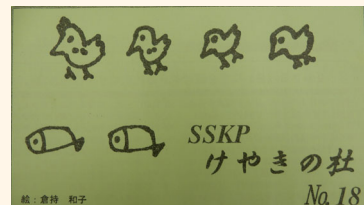


⑦第58号～第92号まで
 平成21年6月～平成30年4月
 表紙は挨拶から始まり文字がぎっしりの
 時代になりました。第89号からは開所
 式の集合写真と目次の形になりました。
 第90号からはカラー印刷となりました。



⑧第93号～現在まで
 平成30年6月～
 レイアウトの構成含め委託をすることと
 し、表紙の質もマットコート紙を使うよ
 うになりました。広報委員も出来上がり
 をとても楽しみにするようになりました。

素敵な表紙系会アップ



発行号	発行号	広報誌のあゆみ・主な記事	世の中の出来事
平成7年 1995年	1号～4号	第1号 ・B5版で発行 ・知っ特コーナー、施設紹介が充実 ・ご利用者の書かれたイラストが豊富	1月 阪神・淡路大震災 4月 東京都知事に青島幸男氏
平成8年 1996年	5号、6号	第6号 ・ホープツアー、レインボーツアー報告	アトランタオリンピック・パラリンピック開催
平成9年 1997年	7号	・希望園の援助を考える	7月 新しい休日「海の日」がスタート 11月 携帯ゲーム機「たまごっち」発売
平成10年 1998年	8号、9号	第9号 ・新しい時代に向かって～福祉制度の曲がり角～	4月 消費税3%→5%へ増税 12月 東京湾海底トンネル(アクアライン)開通 長野冬季オリンピック・パラリンピック開催
平成11年 1999年	10号～13号	第10号 ・選択行事紹介記事 成田空港コース、観劇コース、ココ・コーラ工場&ポーリングコース	2月 郵便番号が3桁から7桁に 3月 だんご3兄弟発売 大ヒット
平成12年 2000年	14号～18号	第17号 ・特集 地域の養護学校紹介	4月 東京都知事に石原慎太郎氏 シドニーオリンピック・パラリンピック開催
平成13年 2001年	19号～22号	第19号 ・けやきの杜サポーターからのメッセージ 東京都福祉局障害福祉部施設福祉課長 田中藤太郎様 第20号 ・ワークホーム虹と国分寺市立第六小学校との交流記事 ・マイホーム・むさし開設特集 第24号 ・ホワイト急便光町店 Eグループ紹介	7月 2,000円札発行 3月 ユニバーサル・スタジオ・ジャパンオープン 9月 東京ディズニーシーオープン 11月 JR東日本suica導入
平成14年 2002年	23号、24号	第26号 ・A4版に変更 ・支援費制度特集	ソルトレークシティ冬季オリンピック・パラリンピック開催 5月 FIFAワールドカップ日韓大会開催 4月 六本木ヒルズオープン
平成15年 2003年	25号～32号	第33号 ・国分寺第十小学校来園(見学)特集	アテネオリンピック・パラリンピック開催
平成16年 2004年	33号～37号	第36号 ・ホワイト急便工場見学	11月 20年ぶりに新紙幣発行。千円：野口英世、五千円：樋口一葉
平成17年 2005年	38号～42号	第41号 ・施設長リレーコラムスタート	3月 愛・地球博が開幕
平成18年 2006年	43号～48号	第46号 ・佐渡ツアー特集	トリノ冬季オリンピック・パラリンピック開催
平成19年 2007年	49号～51号	第48号 ・カリスマ主任密着 24時特集	8月 夏の甲子園決勝 引き分け再試合で早稲田実業が優勝
平成20年 2008年	52号～55号	第50号 ・経営理念策定 第51号 ・自立支援法移行に向けての動き 第53号 ・新体系移行	2月 第1回東京マラソン開催 北京オリンピック・パラリンピック開催

～記事からわかる時代の変遷～

1. 仕事の種類 こんながありました

- ・牛乳パックを使った紙すき(ハガキ、名刺、封筒、ポチ袋)・付録の袋詰め・製函(チョコレートやギフトセット用や靴下)
- ・畑の野菜づくり・プラスチックスプーンの袋詰め・へちま化粧水・マドレーヌ・さをり織り・ビーズ製品・キウイジャム
- ・クロネコヤマトメール便配達・障子貼り・蔵王の豆腐販売・アロマキャンドル・茂蔵豆腐・製麺(うどん)・クリーニング取次・ベーグル



職員で色々知恵を絞って考えた仕事ではありませんが、仕事が継続できなかった理由は、仕事場のスペースの限界、廃棄物の処理問題、仕事のできるご利用者が少なくなったりと様々です。現在は今ある仕事を大事に、皆さん日々励んでいます。

「コスモ」などのネーミングは、それぞれのグループで希望を出し合って決めたそうです。

2. グループ名 (紹介のあった号より)

- 1号 希望園、ワークホーム虹
- 11号 ABCDEグループ
- 12号 コスモ(元A)、サザンクロス(元B)、ユニコーン(元C)、オリオン(元D)、三日月(元E)、イオ(元F)
- 18号 A(第2ワークホーム虹) B(第2ワークホーム虹分室) C(第1ワークホーム虹) D(希望園)
- 24号 Eグループ(ホワイト急便光町店)が追加
- 28号 希望園、ワークセンター・さくら、ワークホーム虹、ワークホーム虹分室

規模の拡大とともに、名前も変わりました。



3. お祭りの名前

のぞみ祭り、フリーマーケット → けやきの杜まつり → けやきフェスタ

4. 広報誌に記載のあった旅行先 (行った事業所名)

- ・伊豆熱川 (虹、オリオン)
- ・栃木鬼怒川 (虹、希望園、サザンクロス)
- ・栃木那須高原 (希望園)
- ・千葉鴨川 (虹)
- ・北海道 (イオ)
- ・草津 (三日月)
- ・栃木那須塩原 (全事業所より希望者)
- ・伊豆修善寺 (希望園)
- ・千葉県館山 (虹)
- ・青梅 (コスモ)
- ・栃木県日光 (ユニコーン)
- ・愛知 (全事業所より希望者)

行き先は関東圏内が多いです。北海道は少人数グループだったから行くことができたようです。



	発行号	広報誌のあゆみ・主な記事	世の中の出来事
平成21年 2009年	56号～59号	第59号・オアシス10周年を振り返って	5月 裁判員制度スタート
平成22年 2010年	60号～63号	第60号・ふれあい防災、国分寺まつり報告	バンクーバー冬季オリンピック・パラリンピック開催 記録的猛暑
平成23年 2011年	64号～67号	第66号・東日本大震災被災地支援報告	3月 東日本大震災が発生
平成24年 2012年	68号～71号	第68号・創立25周年記念式典特集	5月 ロンドンオリンピック・パラリンピック開催 12月 東京スカイツリーオープン
平成25年 2013年	72号～75号	第75号・けやきの杜ツアー in 福島	6月 富士山が世界遺産に登録される
平成26年 2014年	76号～79号	第79号・ワークセンター・さくら 就労継続B型事業紹介	9月 2020年オリンピック・パラリンピックの開催地が東京に決定 ソチ冬季オリンピック・パラリンピック開催
平成27年 2015年	80号～83号	第82号・小規模多機能むさし開所式	2月 東京都知事に舛添要一氏 4月 消費税5%→8%へ増税
平成28年 2016年	84号～87号	第84号・けやきの杜ツアー in 伊勢 ・希望園造形活動紹介	3月 北陸新幹線 長野駅～金沢駅間開業 9月 ラグビー W杯イングランド大会開幕 日本代表南アフリカに勝利
平成29年 2017年	88号～90号	第88号・けやきの杜30周年を振り返る 第90号・紙面リニューアルし、カラー印刷となる	3月 リオデジャネイロオリンピック・パラリンピック開催 8月 北海道新幹線 新青森駅～新函館北斗駅間開業
平成30年 2018年	91号～94号	第93号・マットコート紙となり、さらに見やすくなる ・食彩工房プラスワン特集	3月 東京都知事に小池百合子氏 新しい休日「山の日」がスタート
平成31年 2019年	95号～97号	第96号・活動報告会、通所/グループホーム合同親睦会特集	6月 上野動物園でパンダの赤ちゃんシャンシャン誕生
令和2年 2020年	98号～	第98号・第12回けやきの杜子ども作文コンクール特集	5月 平昌冬季オリンピック・パラリンピック開催 羽生結弦 2大会連続金メダル 9月 新元号「令和」 10月 ラグビー W杯日本大会開幕 日本代表8強 消費税8%→10%へ増税 新型コロナウイルス感染症 大流行 東京オリンピック・パラリンピック開催延期



第100号記念特集

～歴代広報委員に聞きました～

質問1

当時の委員会で思い出すこと、委員会でのエピソード

- 私が委員の時であったか失念しましたが、考えた特集記事のタイトルが品がないと叱られたことですかね。
- 法人に就職して初めての委員会活動でした。わからない事ばかりで、原稿依頼と締め切りが近くなると、ドキドキして出来具合を尋ねて回りました。
- 装丁を委託したことで、レイアウト検討をするのが大変だったこと
- 自前の白黒印刷からカラー印刷に切り替えるにあたり、送付先の大規模な見直しと整理をしました。

質問2

苦労したこと

- 何度確認しても文字の修正が終わらず、一生修正するのかと泣きそうになりました。
- 年末年始を挟んでの広報誌の発行は、「あけてまして…」が遅れるのはもってのほかでしたので、期限が迫ってくる感じで厳しかった。
- 現場からの原稿がなかなか上がってこなかった事
- 私の時代からカラー印刷にしましたが、見やすくなったせいなのか…内容だけでなく文章自体にもだいぶ注意を受けました。



質問3

書いた記事で印象に残っている記事

- 希望園分場開設・ホワイト急便開店直後、お店が繁盛してご利用者に高い工賃を支給できてとにかく嬉しかった。その記事を今読み返すと短い文章ながらも高揚感があふれているように思います。
- 利用者の方のリアルな日常を取材して書く記事でしたが、終電近くの立川駅で電車旅をするご利用者の写真を撮っていて周りから不思議な目で見られました。
- 30周年の年に記念的なものを作りたい！とけやきの杜の昔話を聞いて記事にしました。
- 担当していたグループホームのご利用者が突然の病で亡くなられたことを記事にしました。仲間と過ごす日を大切に、何よりも素敵な人柄を伝え、悲しいだけの内容だけにはしたくない一心で頑張りました。

質問4

これからの広報委員にメッセージ

- 編集は大変だし、原稿を依頼すれば嫌な顔をされるし、この前完成したばかりなのにまた次の号の特集内容を組むのはとても大変ですが、今後もお手伝いできる場所は協力させていただきます！
- 別の福祉法人に勤務する友人から「うちにも送られてくるよ」と聞いた時、「本当にいろんな人が読んでくれているんだな」と改めて驚いた記憶があります。特にご利用者は、とても楽しみにしているので、これからも素敵な広報誌を届けて欲しいです。
- 「いつもの広報誌だな」って思われないように、そして読みたくなるようなものを発行してもらおうと嬉しいです。
- 国分寺市障害者就労支援センターでは一般の方に手渡し、広報誌から法人の事を伝える機会が多くあります。広報誌から伝わる法人のイメージアップにとても役立っています。

※在職されている方の中から
 1998年～鳥居、2006年～土井、2008年～石丸
 2011年～我部、2016年～大島・高下、
 2018年～姉崎・堀口、の方々に協力をいただきました。



新グループホーム開設

地域共同生活支援センター・キッピスに新しく「マイホーム・いぶき」が加わりました。そして、「マイホーム・みかさ」が戸倉に引っ越してきました。地域の皆様のご理解と関係企業様のご尽力のおかげで、11月より元気にスタートしております。これからも末永くよろしくお願いいたします。

（地域共同生活支援センター・レハイム 主幹 阿彌 亨）



建築前



地鎮祭が執り行われました



基礎となる土台ができました



2階部分も完成に近づき家らしくなってきました



1階部分着工



足場が組まれました



窓枠も入り、外壁や内部工事も進んでいます



ネットも取れ完成までもうすぐです



完成しました！





オープンキャンパス（夏）報告

けやきの社では、未だ新型コロナウイルス感染症の収束が見えない中、心配な面もありましたが、感染予防対策のもと8月20日（木）21日（金）にオープンキャンパスを開催いたしました。

オープンキャンパスでは特別支援学校の生徒さんご家族、先生や生活介護・就労継続支援B型の利用を考えている方々が、進路や仕事に対する具体的なイメージを描いていただけるよう、各事業所のプログラムの中から選んで体験していただいています。真夏の暑さが厳しい2日間でしたが20組の方々が参加されました。1日目の午前中に通所事業所見学とグループホーム見学をしていただき、その後ご利用者と同じ給食を召し上がっていただきました。午後は希望された事業所での体験で、ポスティングや清掃、調理等を行いました。「これから何をするのか?」「どんなお仕事があるのかな?」といった緊張や期待の表情をされておりました。体験から戻られた際には「料理の盛り付け楽しかった」「普段歩かないからいい運動になった」「お仕事いっぱいできた」等とてもいきいきされていたのが印象的でした。

今後もオープンキャンパスを開催してまいりたいと思います。ぜひご参加をお待ちしております。

希望園 八田 史恩

ワークセンター・さくら 五十嵐 潤一



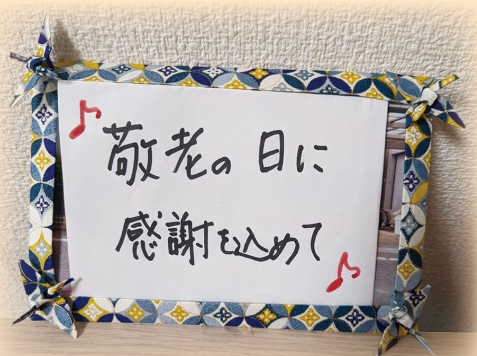
令和2年度 小規模多機能むさし 敬老会

今年度の敬老会は、流行の収束が見えない新型コロナウイルス感染症を考慮し、例年より規模を縮小、9月21日22日23日の3日間に分散して開催いたしました。

いつもは体操やゲーム、カラオケなどを楽しんでいる1階のフロアを装飾し、テーブルには花、昼食時は箸袋、お茶うけには生菓子を、それぞれ用意いたしました。普段より華やかなお祝いの雰囲気皆さんの表情もいつもより明るいように感じられました。

例年はご家族もご招待していたのですが、今年はご招待できない代わりに当日撮影した写真を後日プレゼント。ご家族にも一緒に楽しんでいただけるようにいたしました。

現在の小規模多機能むさしご利用者の最高年齢は95歳、平均年齢は83歳。来年は傘寿・米寿・卒寿の長寿祝いの方がいらっしゃいます。皆でお祝いができるよう、元気に楽しく過ごして参ります。



小規模多機能むさし 関戸 悟



令和元年度社会福祉法人けやきの杜事業報告及び決算報告は、令和2年5月12～14日に監事監査を実施し、令和2年6月8日理事会及び令和2年6月23日評議員会において承認されました。以下内容を抜粋してご報告いたします。（報告書原本は、ワークセンター・さくら事務所で閲覧可能です。）

令和元年度 社会福祉法人けやきの杜 事業報告

令和元年度は、以下の5点について重点的に取り組みました。

(1) 地域共同生活支援センター・レハイム(グループホーム)の新規ユニット開設

老朽化のため賃貸借契約を更新しないユニットの移転先として、令和元年度内に新規ユニット(定員7名)の開設を目指しましたが、2件の候補地がまとまらず、3件目で土地所有者との話がまとまりました。現在、令和2年5月着工、11月開設を準備することができました。また、新規ユニット(定員7名)も同時に開設準備を進めることができました。

2ユニットとも、法人の希望していたオーナー型として、入居者の緊急時にも対応しやすいよう隣接して新築していただくことになりました。

(2) 支援力向上を目指した取り組みと環境整備

先進的な支援に取り組む他法人や、就労・作業開拓や接遇等に学ぶ点がある企業を職員自らが調査・選択し、研修に派遣する制度を新設し、新取の精神と支援力の向上を目指しましたが、職員からの提案がなく今後の課題となりました。改めて、職員への浸透を図る必要性を感じました。

職員ごとに個別研修計画を作成し、個々の課題や目標に応じた外部研修に計画的に派遣することとしていましたが、十分に機能していません。引き続き検討し、支援力の向上をめざします。

個別のテーマについて掘り下げて学ぶ内部研修「支援塾」を通じて、職員層毎に学びあう場を設けました。令和2年度もさらなる向上をめざして、継続していきます。ご利用者にとってより理解しやすい提示ができるアイテムの導入や、安定・集中してプログラムに取り組めるよう環境整備は、通所事業所を中心に少しずつ環境整備が進め、安定・集中してプログラムに取り組める利用者が増えました。令和2年度も継続する課題となっています。

(3) 積極的な新規利用者獲得と稼働率の向上

利用者実習の受け入れ、オープンキャンパスの実施、教育・相談機関への広報活動を積極的に実施しました。

利用者実習11名を受け入れ、オープンキャンパスは2回実施し、合計3日間で延べ65名の参加がありました。また、事業説明会を3回実施し、数年後の利用者拡大をざした取り組みをしました。

通所3事業所(希望園・さくら・プラスワン)で8名の新規利用者獲得をめざした結果、年度当初に2名、年度途中より2名の新規の利用を得ることが出来ました。

通所3事業所(希望園・さくら・プラスワン)においては、月1回の土曜日開所(合計12回)を実施し、稼働率を向上しました。土曜日開所にあたり、3事業で延べ469人の利用がありました。

(4) けやきの杜「働き方改革」と業務効率化の推進

年次有給休暇の計画的付与制度(指定有給休暇5日)を導入し、職員の有給消化率の10%向上を目指しました。

平成30年度有給消化率34.7%から令和元年度58.0%へ向上しました。

長時間勤務の要因となるグループホームの早番・遅番勤務についてパート化を推進しましたが、まだ十分とはいえず、令和2年度への課題となりました。引き続き、グループホームの早番・遅番の採用活動に取り組めます。

超過勤務時間の25%削減を目指しましたが、平成30年度は、総超過勤務時間1,228時間(対象職員51名・年間平均24.1時間・月平均2.0時間)令和元年度は、総超過勤務時間1,488.5時間(対象職員47名・年間平均31.7時間・月平均2.6時間)でした。

計画的・効率的に業務に取り組む成果を出す職員が評価されるよう研修や会議を通じて法人の意識改革を行いました。

クラウド型グループウェア・給与人事労務管理ソフトの活用により、職員の勤務動向がわかり易くなり、法人内での外線・内線問い合わせが減少、書類のやりとりをグループウェア上で行うようになり、給与明細の発行もデータ上で行うようになり業務効率化を推進できています。

(5) 中長期計画の策定と法人事業の見直し

平成30年10月より委員会を設置し、法人中長期計画の策定に向けて協議を進め、第4回理事会理にて、承認決議し、即日実行に移すことができました。

多機能型事業所である希望園とワークセンター・さくらは、事業種別や定員数、プログラム等の再検証を行うと共に、自立訓練事業と就労移行支援事業について令和元年度中に検討を重ね、希望園就労移行事業及ワークセンター・さくら自立訓練事業は、令和2年3月31日で廃止とし、令和2年4月1日より、希望園は、生活介護事業(定員23名)、就労継続支援事業B型(定員17名)の2事業(総定員40名)で、ワークセンター・さくらは生活介護事業(定員20名)として運営します。



令和元年度

 社会福祉法人
 けやきの杜
 決算報告

法人単位事業活動計算書（平成31年4月1日～令和2年3月31日）

		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
I	サービス活動増減の部			
	サービス活動収益計(1)	758,398,523	729,594,951	28,803,572
	サービス活動費用計(2)	796,185,271	786,136,143	10,049,128
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	-37,786,748	-56,541,192	18,754,444
II	サービス活動外増減の部			
	サービス活動外収益計(4)	14,571,646	12,101,931	2,469,715
	サービス活動外費用計(5)	1,385,371	723,042	662,329
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	13,186,275	11,378,889	1,807,386
	経常活動増減差額(7)=(3)+(6)	-24,600,473	-45,162,303	20,561,830
III	特別増減の部			
	特別収益計(8)	0	0	0
	特別費用計(9)	291,994	654,140	-362,146
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	-291,994	-654,140	362,146
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	-24,892,467	-45,816,443	20,923,976
IV	繰越活動増減差額の部			
	前期繰越活動増減差額(12)	433,846,090	476,275,533	-42,429,443
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	408,953,623	430,459,090	-21,505,467
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	3,387,000	-3,387,000
	その他の積立金積立額(16)	0	0	0
	次期繰越増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	408,953,623	433,846,090	-24,892,467

貸借対照表（令和2年3月31日現在）

	当年度末	前年度末	増減
I 資産の部			
1. 流動資産	390,713,122	409,624,705	-18,911,583
現金預金・未収金・前払費用・有価証券等			
2. 固定資産	532,594,682	551,245,400	-18,650,718
基本財産・有形無形固定資産・その他積立金等			
資産の部合計	923,307,804	960,870,105	-37,562,301
II 負債の部			
1. 流動負債	108,572,129	110,752,654	-2,180,525
その他の未払金・未払費用・賞与引当金等			
2. 固定負債	89,100,805	89,429,884	-329,079
設備資金借入金・退職給与引当金・長期預り金等			
負債の部合計	197,672,934	200,182,538	-2,509,604
III 純資産の部			
1. 基本金	4,003,300	4,003,300	0
2. 国庫補助金等特別積立金	244,004,806	254,165,036	-10,160,230
3. その他の積立金	68,673,141	68,673,141	0
4. 次期繰越活動増減差額	408,953,623	433,846,090	-24,892,467
（うち当期繰越活動増減差額）			0
純資産の部合計	725,634,870	760,687,567	-35,052,697
負債及び純資産の部合計	923,307,804	960,870,105	-37,562,301

広報誌100号を記念して

理事長 神原 富美子

広報誌「けやきの杜」100号を皆様にお届けできますこと、大変嬉しく、また、感謝の気持ちでいっぱいしております。けやきの杜も間もなく35年を迎えようとしています。国分寺市を始め、地域の皆様方、関係機関・団体など多くの方々に支えて頂き今日このように事業を行っておりますこと、改めて感謝申し上げます。

希望園の一事業所からスタートした当法人も年齢期から高齢者までの多くの方々に利用していただけるようになりました。過去の広報誌を振り返り読んでおりますと、その時々において、障害者を取り巻く環境の変化も読み取ることができ、その変遷に感慨を覚えます。時代や環境は違っても変わらないのは、ご利用者の気持ちではないかと思っております。ご利用者に寄り添い、一人ひとりの想いを支えながら引き続き地域生活を送れるよう日々邁進してまいります。最後になりましたが、新型コロナウイルスの対応では、利用者さん・ご家族の皆様には、ご理解・ご協力をありがとうございました。

また、国分寺市を始め多くの方々より、感染防止の物資（マスク、消毒液など）をご提供・ご寄付をいただきましたこと、書面にて御礼申し上げます。

協会の会費の納入とご寄付ありがとうございます（令和2年4月～8月分）

【協会の会費】（敬称略）

〔5口以上〕伊藤孝一／塚田征夫／（有）IMプランニング土手内勇介／あさひ国際旅行株式会社／西本頼雄／株式会社千代田防災／山本智文／吉廣賢二

〔2口以上〕大和通信機株式会社／鈴木薫／高山美子／高田守

〔1口以上〕去来川富男／有限会社さやか企画／永野喜一／阿部公昭／（有）井口葬儀店／池谷敏子／井田良文／
穴戸芳子／川島章子／中野泰博／北原恵美／岡橋生幸／白木建設株式会社

【協会の寄付】（敬称略）〔500,000円〕荒井東治〔30,000円〕税理士法人土手内総合事務所

〔20,000円〕有限会社恵商事〔10,000円〕医療法人社団エフエムティ理事長高橋聰

〔5,000円〕阿部公昭／株式会社セーワ建築工房代表取締役坂井幹夫／無記名

【生活支援事業基金】（敬称略）〔5,000円〕阿部公昭／白木建設株式会社

○ブルトップの収集にご協力いただいている皆様（敬称略）

（仮）NPO法人緑の種【大串忠夫（葛飾区）、小谷豊（株）プリモトラベル（千代田区神田）】、

長野市・グループ「まちの縁側」代表塚田晃子、国分寺市長野県人会、国分寺市赤十字奉仕団、

国際文化理容美容専門学校国分寺校、佐藤和秋（戸倉）、スナック小藤（本町）、（有）浅見畜産（本町）、

増井品子（高円寺）、内藤享子（世田谷・赤堤）、津島圭子（新宿・セントラル）、オフィスマエダネゴ、西本頼雄（大田区東雪谷4丁目）

社会福祉法人けやきの杜へのご寄付ありがとうございます

【寄付金】（敬称略）〔200,000円〕株式会社武蔵野銀行〔100,000円〕清水一洋、洋行／匿名

【キッピス指定寄付金】（敬称略）〔100,000円〕阿部陽一郎

【希望園指定寄付金】（敬称略）〔200,000円〕匿名

【レハイム指定寄付金】（敬称略）〔200,000円〕匿名

編集後記

1995年の1号から、おかげさまで今号で100号を迎えました。

すべては皆様のご支援とご協力のたまものです。心から御礼申し上げます。

2020年も残すところ僅かになりました。体調には十分お気をつけて、良いお年を

お迎えください。

（広報委員 小島 あすか）

